

2005年9月29日
中央大学FLPジャーナリズムプログラム

**「多摩探検隊」制作のドキュメンタリーが
地方発のドキュメンタリー番組の祭典、「地方の時代」映像祭で上映決定！**

中央大学FLPジャーナリズムプログラムが制作し、多摩地区のケーブルテレビ5局で放送中の地域情報番組「多摩探検隊」の戦後60年特別企画、「60年目の記憶～多摩地区に残る戦争の傷跡～」が、10月1日から開催される第25回「地方の時代」映像祭(主催:川越市、日本放送協会、日本民間放送連盟、東京国際大学)で上映されることとなりましたのでお知らせ致します。

この作品は2005年8月の「多摩探検隊」で放送されたもので、多摩地区に残る戦争の傷跡にスポットをあて、東大和市の「旧日立航空機立川工場変電所」と八王子市の「ランドセル地蔵」の2つの戦跡を取材し制作されたドキュメンタリーです。

<「60年目の記憶」上映会概要>

日時: 2005年10月2日(日) 15:00～(10分間)

会場: 東京国際大学第1キャンパス 2号館3階 234R

<作品概要>

タイトル: 60年目の記憶～多摩地区に残る戦争の傷跡～

総合演出: 阿部公信(中央大学法学部政治学科4年)

本編: 10分

「多摩探検隊」とは (<http://www.tamatan.tv>)

2004年5月に放送を開始した学生初地域情報番組。中央大学FLPジャーナリズムプログラムの学生が企画、取材、撮影、編集、パッケージ化する。現在、多摩地区のCATV5局(多摩テレビ、日野ケーブルテレビ、多摩ケーブルネットワーク、八王子テレメディア、マイ・テレビ)で放送されている。

【お問い合わせ先】

多摩探検隊 広報 豊島 豊 090-5781-4587